

令和7年度健全化判断比率及び資金不足比率審査意見書

第1 審査の概要

この審査は、市長から提出された健全化判断比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

第2 審査の実施日及び場所

令和8年8月17日（月）那須烏山市役所 烏山庁舎 市民室

第3 審査の結果

（1）総合意見

審査に付された次の健全化判断比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

①健全化判断比率（単位：％）

区 分	比 率		早期健全化 基準	財政再生 基準
	令和7年度	令和6年度		
1 実質赤字比率	—	—	13.57	20.00
2 連結実質赤字比率	—	—	18.57	30.00
3 実質公債費比率	6.5	7.2	25.0	35.0
4 将来負担比率	—	—	350.0	

②資金不足比率（単位：％）

会計名	比 率		経営健全化 基準
	令和7年度	令和6年度	
水道事業会計	—	—	20.0
下水道事業会計	—	—	20.0

注：「—」は、赤字又は資金不足を生じていないため当該数値については該当なしを表す。

（2）個別意見

① 実質赤字比率について

令和7年度の実質赤字比率は、実質収支が黒字であるため該当なしとなっている。

② 連結実質赤字比率について

令和7年度の連結実質赤字比率は、連結実質収支が黒字であるため該当なしとなっている。

③ **実質公債費比率**について

令和7年度の実質公債費比率（3か年平均）は、6.5%であり、早期健全化基準の25.0%を下回っており良好な状態にあると認められる。

④ **将来負担比率**について

令和7年度の将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回っているため該当なしとなっている。

⑤ **資金不足比率**について

令和7年度の資金不足比率は、資金不足が生じていないため該当なしとなっている。

（3）是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

以上のとおり意見書を提出する。

令和8年8月24日

那須烏山市監査委員 樋 山 隆

那須烏山市監査委員 矢 板 清 枝